

東百合丘非常口（立坑）工事が開始さる

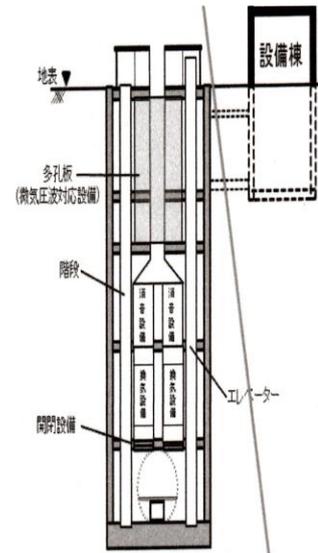
交通渋滞・大気汚染、騒音・振動、地盤沈下、地価下落など
住民の不安・危惧は解決されないまま

日常の監視によって住民生活を守ろう！

東百合丘非常口の位置



立坑イメージ図



外径 39m x 100m

■ 残土処理や騒音・振動など、JR東海は住民との約束を守っているか？

東百合丘非常口工事が4月から始まりました。JR東海は住民との約束を守っているのか、リニア麻生多摩の会は5月18日に現地視察を行いました。以下、主な問題点は；

- ★ 残土処分の車両は35台×3往復で平塚、厚木に運搬していますが、約束の土壌汚染調査は行われているのか、また残土の使用先はどうなっているのか不明です。
- ★ 工事ヤード北側に設置された騒音・振動計は、現地視察時（昼）は騒音（47dB）、振動（45dB）と川崎市の基準ギリギリでした。残土運搬車が1時間に60台を超える3年後のピーク時にはこの基準を守ることができるのか疑問です。
- ★ 尻手黒川線の水平面まで高台の土を削り取る工事で、土圧の変化により、付近を通る汐見台浄水場いきの導水管が浮き上がり、また、北側住宅地に隆起や地盤沈下などの被害はないのか心配です。

以上、問題は他にもあり、住民の皆さんからのご意見をともに、再度JRや川崎市に質問していきます。



(尻手黒川線道路から見た南出入口)



(工事ヤード)

ストップ・リニア！訴訟の公正な審理を求める署名のお願い

私たち全国の738人の原告は、2016年5月、国交大臣によるリニア工事認可の取消しを求めて東京地裁にストップ・リニア！訴訟を起しました。現在、杜撰な環境アセスメントや安全対策の欠陥などについて沿線の原告が意見陳述を行っています。一方、JR東海は沿線での本格工事を急いでいます。

このため私たちは、指導・監督責任を果たしていない国土交通大臣による工事実施計画の承認の取消しの判決をめざして、裁判官宛に公正な審理を求める署名をお願いしています。多くの皆様の声を集め、リニア中央新幹線（以下リニア新幹線）の工事をやめさせましょう。

2017年5月

リニア新幹線沿線住民ネットワーク

リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会

市民の皆様へ 署名のお願い

ストップ・リニア！訴訟原告団では市民の皆さんに署名のご協力をお願いしています。裁判の公正な審理を求める署名を、ご家族や、お知り合い、友人の方に呼びかけて広げてください。

また、頂いた署名用紙は、ご面倒でもお近くのリニア会員の方にお渡しいただくか、用紙に記載の住所に郵送して下さるようお願いいたします。



ストップ・リニア！訴訟第5回口頭弁論

日時：6月23日（金）14:30 開廷（13:15 東京地裁前集合）

第5回口頭弁論が、6月23日（金）午後2時30分から、東京地方裁判所103号法廷で開かれます。法廷では沿線の原告による3回目の意見陳述が行われます。今回は長野県の大鹿村、松川町の原告が立って、リニア実験線工事による水枯れ、生活被害、残土処理、南アルプスの自然環境などの被害や実態についての意見を述べます。第1～4回口頭弁論同様、同様傍聴席を満員にして、原告の意見陳述を支援しましょう

13:15 地裁前集会 14:00 傍聴券抽選、14:30 開廷、15:30 閉廷

その後

ストップ・リニア！訴訟一周年記念 講演会&シンポジウム

時間：16:00～18:30

場所：衆議院第一議員会館大会議室（地下1階）

（午後3時から玄関ロビーで入館証配布）

講師：斎藤貴男氏「暴走するリニア新幹線」

パネリスト：関島保雄氏、川村晃生氏

資料代500円



ジャーナリスト
斎藤貴男さん